



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月13日

上場会社名 株式会社LITALICO 上場取引所 東
 コード番号 6187 URL http://litalico.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 敦弥
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 坂本 祥二 TEL 03(5704)7355
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	6,028	-	677	-	681	-	439	-
2018年3月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 439百万円 (-%) 2018年3月期第2四半期 一百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	25.09	24.68
2018年3月期第2四半期	-	-

(注) 当社は、2019年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2018年3月期第2四半期の数値及び2019年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	5,709	2,725	47.6
2018年3月期	-	-	-

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 2,716百万円 2018年3月期 -百万円

(注) 当社は、2019年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2018年3月期の数値を記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2019年3月期	-	0.00	-	-	-
2019年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,212	-	816	-	836	-	570	-	32.50

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2019年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期の対前期増減率を記載しておりません。

3. 本連結業績予想数値は、2018年5月14日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました、単体の業績予想数値から変更ありません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年3月期2Q	17,557,400株	2018年3月期	17,517,400株
2019年3月期2Q	－株	2018年3月期	－株
2019年3月期2Q	17,517,837株	2018年3月期2Q	17,413,400株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調が続いております。しかし、中東、北朝鮮情勢の緊迫化などの地政学リスクや、米国の通商政策をめぐる対立や金利上昇など海外には不透明な材料が多く、国内においては実質賃金の減少による個人消費の低迷が懸念されるほか、人手不足の深刻化によって一部の業種で供給制約が発生するなど景気の拡大を阻害するリスクがあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境においては、民間企業に義務付けている障害者の雇用割合（法定雇用率）の算定基礎に精神障害者を加えることにより、民間企業の障害者雇用率を2018年4月に2.2%、2020年度末までに2.3%への引き上げを厚生労働省が決定したことで、障害者雇用に対する旺盛な需要が見込まれております。

また、全国の公立小中学校のうち、障害のある生徒が通常学級に在籍しながら必要に応じて別室などで授業を受ける「通級指導」の2017年度の設置学校数は昨年対比で15.5%増加し、5,283校となっており、また対象者は108,946人で過去最高を更新するなど、発達障害への社会認知が進んでおります。

そのような外部環境の変化を踏まえ、長期的利益の安定成長を実現するため、働くことに障害のある方への就労支援サービスであるLITALICOワークス事業及び、子ども一人ひとりの個性に合わせた学びを提供する幼児教室・学習教室であるLITALICOジュニア事業の一層の強化を進めております。具体的には、当第2四半期連結累計期間の新規拠点開設数は、就労移行支援事業4拠点、児童発達支援事業1拠点、放課後等デイサービス事業1拠点、その他（LITALICOワンダー事業）3拠点となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高6,028,225千円、営業利益677,954千円、経常利益681,993千円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は439,469千円となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりです。

①LITALICOワークス事業

既存拠点及び新規開設拠点が順調に推移したことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,939,192千円となりました。

②LITALICOジュニア事業

既存拠点及び新規開設拠点が順調に推移したことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,597,912千円となりました。

③その他

LITALICOワンダー事業の既存拠点及び新規開設拠点が順調に推移したこと及び、その他の事業の収益拡大により当第2四半期連結累計期間の売上高は491,120千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、5,709,498千円となりました。主な内訳は、売掛金1,878,916千円、有形固定資産1,835,610千円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、2,984,177千円となりました。主な内訳は、長期借入金及び1年内返済長期借入金1,648,875千円、未払費用608,694千円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、2,725,320千円となりました。主な内訳は、資本金357,407千円、資本剰余金316,407千円、利益剰余金2,042,507千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

非連結子会社でありました株式会社LITALICOライフにつきまして、重要性が増したため連結の範囲に含めることとし、第1四半期連結会計期間より連結決算へ移行しております。2019年3月期通期の連結業績予想数値につきましては、2018年5月14日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました、単体の業績予想数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(2018年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	668,796
売掛金	1,878,916
たな卸資産	2,282
前払費用	169,467
その他	41,110
貸倒引当金	△1,726
流動資産合計	2,758,847
固定資産	
有形固定資産	
建物附属設備	1,471,062
工具、器具及び備品	1,065,357
減価償却累計額	△700,810
有形固定資産合計	1,835,610
無形固定資産	
ソフトウェア	166,157
ソフトウェア仮勘定	60,609
その他	8,564
無形固定資産合計	235,332
投資その他の資産	
投資有価証券	261,926
敷金及び保証金	463,448
繰延税金資産	69,031
その他	85,303
投資その他の資産合計	879,708
固定資産合計	2,950,651
資産合計	5,709,498

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(2018年9月30日)

負債の部	
流動負債	
1年内返済予定の長期借入金	502,045
リース債務	17,162
未払金	203,463
未払費用	608,694
未払法人税等	219,165
預り金	226,430
その他	23,949
流動負債合計	1,800,909
固定負債	
長期借入金	1,146,830
リース債務	36,438
固定負債合計	1,183,268
負債合計	2,984,177
純資産の部	
株主資本	
資本金	357,407
資本剰余金	316,407
利益剰余金	2,042,507
株主資本合計	2,716,323
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	204
その他の包括利益累計額合計	204
新株予約権	8,793
純資産合計	2,725,320
負債純資産合計	5,709,498

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	6,028,225
売上原価	3,672,197
売上総利益	2,356,028
販売費及び一般管理費	1,678,073
営業利益	677,954
営業外収益	
受取利息	4
助成金収入	7,580
その他	1,721
営業外収益合計	9,305
営業外費用	
支払利息	4,322
その他	943
営業外費用合計	5,266
経常利益	681,993
特別損失	
固定資産除却損	24,324
特別損失合計	24,324
税金等調整前四半期純利益	657,668
法人税、住民税及び事業税	218,199
法人税等合計	218,199
四半期純利益	439,469
親会社株主に帰属する四半期純利益	439,469

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	439,469
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	14
その他の包括利益合計	14
四半期包括利益	439,484
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	439,484

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	657,668
減価償却費	169,174
株式報酬費用	3,858
貸倒引当金の増減額(△は減少)	677
受取利息及び受取配当金	△4
支払利息	4,322
固定資産除却損	24,324
売上債権の増減額(△は増加)	△193,743
未払金の増減額(△は減少)	5,006
未払費用の増減額(△は減少)	86,146
その他	28,748
小計	786,180
利息及び配当金の受取額	4
利息の支払額	△4,317
法人税等の支払額	△158,104
営業活動によるキャッシュ・フロー	623,763
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△50,855
有形固定資産の取得による支出	△182,796
無形固定資産の取得による支出	△69,685
敷金及び保証金の差入による支出	△27,980
長期前払費用の取得による支出	△4,347
その他	1,336
投資活動によるキャッシュ・フロー	△334,330
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000
長期借入金の返済による支出	△292,342
リース債務の返済による支出	△15,198
長期未払金の返済による支出	△32,338
ストックオプションの行使による収入	16,024
財務活動によるキャッシュ・フロー	△423,854
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△134,420
現金及び現金同等物の期首残高	803,217
現金及び現金同等物の四半期末残高	668,796

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、非連結子会社でありました株式会社LITALICOライフにつきまして、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	LITALICO ワークス事業	LITALICO ジュニア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,939,192	2,597,912	5,537,105	491,120	6,028,225
セグメント利益又は損失(△)	1,102,693	539,715	1,642,409	△106,901	1,535,508

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LITALICOワンダー事業、LITALICO発達ナビ事業、LITALICO仕事ナビ事業、Conobie事業、LITALICOライフプランニング事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	1,642,409
「その他」の区分の損失	△106,901
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△857,553
四半期連結損益計算書の営業利益	677,954

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。